

# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表: 令和3年3月 回収率: 100% 事業所: 野うさぎ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切である。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		教室に階段がある為完全バリアフリー化はできないが、スタッフの配置等で安全に配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			週一回の会議、研修時に参加しやすい環境をつくり、情報共有に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年1回のアンケートを基に、基本に取り組んでいる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所のホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			業務改善の為、外部の評価を受け見直している。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修にも積極的に参加、日程を決めて内部研修も行っている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			モニタリング、個人懇談等を行い、丁寧に聞き取りをしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			子どもの特性に合わせたツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			チームで意見を出し合い、立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童の状態や気候等を考慮している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇はイベントを入れながら役割を含むのも課題としている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			スタッフ間で現在の様子を情報共有し、必要な活動提供を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼時、リーダーから職員に一日の動き、送迎確認をしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼時、子ども達の様子や支援の振り返り等を共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別記録に書き、ミーティングを通して検証につなげている。
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、必要性の判断を確認している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			研修にガイドラインを活用し、活動時に反映できるようにしている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			基本的には児童指導員が出席し、可能な場合には担当スタッフも参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			お迎え時に日々の様子や通所日程等先生方と情報共有させていただいている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在、医療的ケアの必要な児童はいないが、必要に応じ対応していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		他事業所を利用している場合も連携をとっている。

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		必要に応じ共有している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修にも参加、職員理に学療法士がいるので助言を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	新型コロナウイルスの感染を防ぐ為、今年度は交流を中止している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	新型コロナウイルスの感染を防ぐため、自粛している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日頃から連絡帳や送迎時に伝え合ったり、個人懇談の回数を増やして、共通理解している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		話す機会を多く設け、心の安心につながることを意識し、親子の関係が良好であるよう支援している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時にしっかりと伝えている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からのご相談にはいつでも対応できるようにし、必要に応じて電話や訪問する等で対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	今年度は、新型コロナウイルス対策の為に、自粛している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		職員間で共有・速やかに実行し、保護者に伝えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月1回の通信を、保護者以外にも、学校や関係機関にも発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人ファイルは鍵付きの棚で保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		発語のない子どもに関しては、絵カードを使用する等工夫している。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	昨年2月までは行っていたが、今年度は新型コロナウイルス対策もあり自粛している。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		利用時や感染症等が流行し始めると、お便り等でその都度お知らせしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		3カ月に一度、訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部研修に積極的に参加し、内部研修も行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		具体的な場面を伝え丁寧に説明し、了解ももらっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		投薬書や指示書のコピーをいただいている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		用紙に記入・報告、対策を話し合っ共有している。